◎日本国とアメリカ合衆国との間の民間航空運送協定の附

(略称)米国との航空協定附表修正取極

0	米国側書簡五五○
八	附表五四八
七	協定の附表の修正 五四七
七	日本側書簡
ページ	目 次 ペ
(外務省告示	
告示	昭和四十四年十一月二十日
効力発生	昭和四十四年十一月士二日
東京で	昭和四十四年十二月十二日

日 表 0 本 国とア 修 正 VC 関 × ij する交換公文 カ 合 1衆国 ٤ Ō 間 0 民 間 航空 運 送協 定 0

附

日 本 側 書 簡

う各自 |栄を有 を削 月二 + 年 月 民 九日 間航空運送協定に 十二月二十八日に修 書 _ 除 日 H 簡をもつて 1まで東 に署名 0 します。 までワシ 政 府に か (京で つ、 さ ント 勧 両 ħ 啓 との 行 告することを合意 国代表団は、 Ŀ なわ ・ンで、 千九百 従つて、 5 書 正さ たし 簡 ħ た民間 及び千 五十)ます。 VC れた日本 同 千 対する! 前記 九百六十九 九 年一 本大臣 航 九 記の協定 空 百 L 国 まし 新た K 六 とアメリ 月 関 7 + は、 を附 以する協 九年 た。 0 年 四 附 -六月 千 日 表 九 表をそう入するよ 及 力 九 月十 合 Ũ 百 議に言及する光 (附属書を含む 千九 十三日 衆国 五 六日 十二 一日かの 百 か 六 年 Ď らせ 間 7 八 ٥ + 0 Ŧī. 月

光栄 その合 た民 が新 旨を閣 本大 (を有 間 た 八臣は、 意 航 下化 な附表を受諾する旨を述べら が閣 空運送協定をさらに修 します。 通報するとともに、 下 さら Ó 返 ĬC, 簡 0 日 É 本国政府が 付 0 H ح 正 する に効 0 れる 書簡 前 岃 両 記 んを生ず 国 閣 及 0 政 新 下 Œ 府 0 7 た ることを提案する な附 間 返 × 簡 IJ, 0 が、 合 表 力 意を構成 合衆国政 を受諾す 修正され 府

大臣は、 **感意を表** 九百六十九年十 î 以上を きすっ 車 ___ L 月十 進 め 三日 る VC 際 Ļ ことに 重 ね 7 閣 F VC 向 か

 \mathbf{B}

本

国

外

務

大臣

爱

知

揆

7

榝

千

H ٤ の航空協定附表修正

日本国駐在アメリカ合衆国特命全権大使 1 Н マイ . | |閣 F

附表

(A) 営し、 と の 着陸を行なう権利を与えられる。 日 Aに定める各航空路線におい 本 Ŕ 及びこの仏に定めるアメリ 政府によつて指定された一又は二以上の航空企業は、 7 カ合衆国内の地点に定期の 両 方向に航空業務を運

- (1)日本国 からホ ノルル、 サ ン・フラ ンシスコ 並びに
- (a) 合王国 =1 を含む。)へ、並びに以遠 ١ 3 ーク及びニュー・ 3 (注1) 1 ク以 遠 3 | П ッ (連
- (b) 以遠 メキシコ及び中米へ(注2)
- (2)遠 南米へ \exists 本国 [から (注 2 ホ , ル ル 及び п ス・アンゼル スへ、 並びに以
- (3) 日 1本国 から沖繩 及び以 遠 注 3
- (4) H 本国 カ らア ンカレ ッジを経 てニュー 3 l ク

(5)

H

本国

から

サ

1

パン

島

を経てグァム島

(B) 0 空業務を運営 空企業は、この国 着陸を行なう権利を与えられる。 メリ カ 合 1衆国 こに定め 政府 及び この VC る各航空路線において、 よつて指定された一又は二以 Bに定める日本国内の地 両方向 点に定期 Ĺ に航 Ø

合衆国から北太平洋を経て東京及び大阪へ、 並びに以遠

- paragraph: scheduled landings in the United States of specified, in both directions, and to make operate air services on each of the air routes the Government of Japan shall be entitled to America at the points specified in this (A) An airline or airlines designated by
- (a) and: New York and beyond New York Europe (including the United Kingdom) and beyond.* to

(1) From Japan to Honolulu, San Francisco,

- (b) beyond to Mexico and Central America.**
- (2) From Japan to Honolulu and Los Angeles and beyond to South America.**
- (3) From Japan to Okinawa and beyond.***

(4) From Japan via Anchorage to New York

- (5) From Japan via Saipan to Guam
- tions, and to make scheduled landings in Japan each of the routes specified, in both direcshall be entitled to operate air services on the Government of (B) An airline or airlines designated by points specified in this paragraph: the United States of America
- (1) From the United States via the North

五四八

Pacific to Tokyo and Osaka and beyond

- (2)合衆国 から中部太平洋を経て東京及び大阪へ、並びに以
- (C) 択により省略することができる。 (3)いずれかの又はすべての飛行にあたつて、 特定路線上の地点は、 沖繩 か ら大阪及び東京 別段の定めがある場合を除 往 3 指定航空企 くほ 並業の選 か、

注 1 なければならない。 なうものは 力 H 1本国 0 航される飛行 定期 か いら東に の着陸 サン・フランシスコ でニュ を行ならもの及び日 向 かつて運航され ı • ∄ 1 に定期の着陸を行なわ クから定期 る飛行でニ 本国に向 0 かつ 離陸を行 э. 1 て西 3

注 2 なうことは のストッ 地 これらの 点を目的地又は出発地とする旅客、 ブ・オ できない。 路線上 ーヴァー又は積込み若しくは積卸しを行 0 合衆国 一の地点において、 貨物及び郵便物 合衆国以遠

注 3 規定を了知するものである。 フランシ カ合衆国が沖繩に対する行政、 これらの路 てい スコで署名された日本国との平和 る根拠たる千九百五十一年九月八日にサン・ 線を許与するにあたり、 立法及び司法上の権力 各 締約国は、 条約第三条の アメ

> (2) From the Pacific to Tokyo and United States via Osaka and the beyond. Central

- (3) From Okinawa to Osaka and Tokyo.***
- option of the designated airline be omitted on any of the specified routes may at the on any (C) Except as otherwise indicated, points or all flights.

Francisco. which makes a scheduled departure from New and any flight operating westbound to Japan which makes a scheduled landing at New York, York, must make a scheduled stop * Any flight operating eastbound from Japan at San

up or discharged at United States points on States may not make a stopover or be picked these routes. for or originating at points beyond the United ** Passengers, cargo, and mail destined

September 8, 1951, under which the United States of America exercises the powers of over Okinawa administration, legislation, and jurisdiction with Japan, signed at San Francisco on visions of Article 3 of the Treaty of Peace Contracting Parties are cognizant of the pro-In granting these routes, the respective

米国 側書簡

(訳文)

とを確認する光栄を有します。 報された千九百六十九年十一月十二日付けの書簡を受領したこ 1簡をもつて啓上いたします。 本使は、 閣下が次のように通

日 本側書簡

Tokyo, November 12, 1969

(United States Note)

Excellency,

in which Your Excellency has informed me as Your Excellency's Note of November 12, 1969, : SMOIIOI I have the honor to acknowledge receipt of

of the Schedule together with the Annex The two Delegations agreed to recommend to on January 14, 1959 and December 28, 1965. signed on August 11, 1952, and was amended is enclosed with this Note. and the insertion of a new Schedule, which thereto, attached to the said Agreement their respective Governments the deletion and the United States of America which was Civil Air Transport Agreement between Japan to October 2, 1969 in accordance with the Washington from June 23, 1969 to July 9, aviation consultations which took place in 1969 and in Tokyo from September 16, 1969 "I have the honor to refer to the civil

that the Government of the United States of into force on the date of your reply." Agreement, as amended, which will enter an agreement between the two Governments United States of America, will constitute I have the honor to inform Your Excellency further amending the Civil Air Transport new Schedule by the Government of the thereto, indicating the acceptance of the propose that this Note and your reply Japan accepts the new Schedule and to Your Excellency that the Government of "I have further the honor to inform

受諾する旨を閣下に

通報する光栄を有します。閣下の前記 合衆国政府が閣下の書簡に含まれた提案を

0 書

America accepts the proposal contained in

本使は、

アメリ

力

する両国政府間の合意を構成し、その合意は、 簡及びこの返簡は、修正された民間航空運送協定をさらに修正 Your Excellency's Note which, with this reply,

本日効力を生じ constitutes an agreement between the two

Governments further amending the Civil Air

本使は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向か to Your Excellency the assurances of my highest into force on this date. Transport Agreement, as amended, which enters I avail myself of this opportunity to renew

ます。

つて敬意を表します。

千九百六十九年十一月十二日に東京で

consideration.

(Signed) Armin H. Meyer

His Excellency Kiichi Aichi,

Minister for Foreign Affairs,

この取極は、 日本側路線⑷及び⑸を追加するためのものである。

参考)

日本国外務大臣

愛知揆一閣下

アーミン・H・マイヤー